

新入学児童・中卒者を激励

市内母子家庭の新入学児童14人と中学卒業生42人を励ます会が、3月19日に市役所大会議室で行われました。

市母子福祉連合会の久万富士会長や小笠原市長らから「力強く、そしてマナーをしっかり身につけた青少年に育ってください。」と激励の言葉、雨がさやアルバムのプレゼントがあったあと、児童生徒を代表して野村妙さん（北陵中卒＝植野）が今日の感激を忘れず、勉強に専心に頑張っていきます。」と、お礼の言葉を述べました。

このあと会場を岡豊山に移してレクリエーション。母と子がいっしょになって楽しい一日をすごしました。

老人の手でみごとな桜並木

大浦熊野神社参道

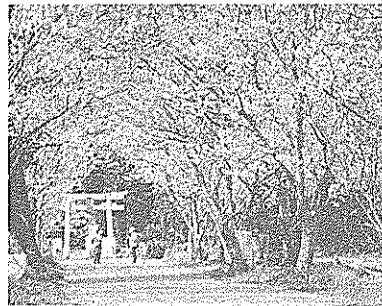
◇……大浦の吾岡山南側、熊野神社。約三百坪の参道両側に百本あまりの桜並木が続く。

毎年四月頃のシーズンになると美しい花をつけ、みごとな「花のトンネル」を作り上げる。

今、地元の人たちの間でここを「桜の名所」、市民のいこいの場にしよう」という動きが起っています。

◇……この桜は、大浦の老人クラブ「千歳会」（山本茂会長、クラブ員約百五十人）が昭和四十年に植え、サクラの名所にしよう」とを合言葉に、清掃奉仕を通して守り育ててきたもの。

◇……この桜は、大浦の老人クラブ「千歳会」（山本茂会長、クラブ員約百五十人）が昭和四十年に植え、サクラの名所にしよう」とを合言葉に、清掃奉仕を通して守り育ててきたもの。



みごとな「桜のトンネル」(昨年の写真から)

状態——そこで、桜の木を植えよう」という声がかつた。このころからひとりで起こったのがきつかけで、「植えてもダメだ。ろくに育たない」など管理の仕方に問題があったが、地区社会福祉協議会の資金を得て植え付けられました。

◇……最初の五年間は苗木の補植、消毒、施肥など苦労した。「地元の人たちや子供たちの理解と協力があった」と話してくる当時の会長、松木伝三さん。

◇……桜の花が咲きだした四十四年にはクラブの総会を兼ねた花見、四十五年には宣伝をかねて隣の大浦老人クラブとの交流会を開いたとのこと。また、最近はそのグループですが毎年この地を訪れています。

◇……こうしてできあがった「桜の名所」。現在、地元の人たちの協力で参道の整地、ベンチやゴミ箱の設置などが進められています。この地を、この願いをみんなです。守り大きく育てていきたいものです。

柔道会員募集

柔道を通じて体力及び精神力の育成をはかる目的で、道場を開設しています。参加ご希望の方はお申込みください。

■参加資格 小学生以上

■申込先 南園道場(商工会西隣)

午後七時より九時まで

又は ☎ 2458 中村

南園市柔道連盟

同商工会青年部

日章地区のみなさんへ

このたび、日章地区保健婦駐在所に電話が新設されました。今までは、あけぼの保育所の呼び出しとなっていました。その不便さが解消され、☎ 42420 になりました。保健婦室にこ



用の方は新設電話をご利用ください。また、保健に関する相談もお気軽にどうぞ。

【公害環境課】

南国俳壇

造船の高き灯に地にクリスマス
瀧潤れて滝の正体見たりけり
石路の花真珠を育つ漁婦に咲く
この老鷹貫ぬく早春のいなびかり
春炬燵と同じ温さの言葉聞く
放列の鯉に鱗なく寒もどる
鷺をもう一声と庭に立つ
春眼の如安らかに逝かれけり
画かれし様には咲かず種袋

- 井上 三里 (灯俳句会)
- 北村 菊女 ()
- 西村 椿子 ()
- 馬場 左枝 (忍冬句会)
- 公文 政子 ()
- 高村三喜子 ()
- 吉永 加寿 (柿の実会)
- 竹田 明代 ()
- 松浦智恵子 ()

南国歌壇

風化せし根つ子の如く病む
母のいのちのかすも尿の音きく
永田 北村ますえ
聖堂の十字架に耶穌は縛られて
魚腹で狂死の猫・人間
大浦 亜矢 竜
般若心経の真意さぐりて霊場に
納む写経に心をそげり
岡豊町 葛目治子

祖父の背に子守唄き登りたる
古城の山に道路計画
額石 唐岩 勇
素人の接木がつけてはだれ梅
さそやかわいく花ぞ咲くらん
亀岩 島本 暄
凍つ空に枇杷花開き初雪の
東の関つもり消えゆくむなし
下野田 徳久まさみ

希義と柏水



源希義は義朝の子で頼朝の弟である。平治の乱に、父義友が殺されると一族は四散し、希義は介良の庄に流されたので、土佐の冠者、または介良の冠者と

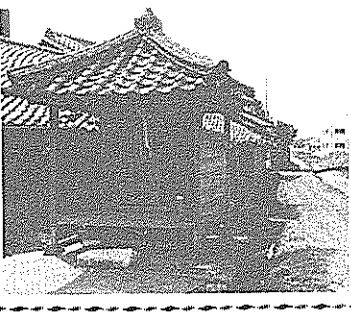
志の夜須七郎行家をたよって、夜須の庄に向うべく途中篠原まで逃れたが、追手の軍はたちまち附近にせまってきた。

希義は過労のため、喉のかわきにたえかねて、一歩も進むことができない。通りかかった百姓に水を求めると、希義の心を察して、付近の柏の葉をとりそばの、泉の水を盛ってさし出した。希義は馬上から受けとりさも美味そうに飲みほして、

「われは源氏の流れをくむ介良冠者希義と申すもの。他日運にめぐまれなば、必ず恩賞をとらすぞ

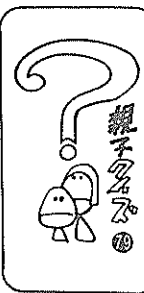
希義には二人の男の子があった。長男隆盛は京都にのぼり、二男の希望は弘岡に居城し五千貫の領主となった。

希義の死体は、介良の僧琳猷が介良の庄、巨野郷に手厚く葬り、更に追善供養のために、走湯山西養寺を建てた。寺は明治維新と



もに庵寺となったが、卵形をした希義の墓一基は古色蒼然として、竹林の中に石垣に囲まれて建っており不遇の英雄の末路を伝えている。

住吉通りの電停から一歩、水田のかたわらに柏木とよぶ泉がある。これが希義の喉をうるおした泉であるという。泉の近くには柏の古木が希義の哀願を伝えるかのように立っている。



ご家族で話し合せて答えてください。答えは今月号の広報に出ています。

■もんだい・五十三年度の市政の方向を決める市議会定例会は○月○日開会。小笠原市長から本年度の施政方針演説がありました。

■しめきり・四月十五日(土)

■おくり先・〒783 南園市大浦甲2301 南園市役所内広報委員会 親子クイズ係

■答えのハガキには必ずお歳・職業・住所を書いてください。

■しようひん・特賞千円(三人)

■残念賞(記念品) 五人

第七十八回正解者発表

■こたえ・◎◎◎でした。

■特賞・千円

■阪口はつえさん(明見)

■北川亀寿さん(下野田)

■石原良次さん(後免町)

■残念賞・記念品

■山崎望(大浦) 宮地洋子(浜改)

■山崎栄(後免町) 村田ユキ(植野)

■有沢美津子(田村) 岡林英男(久礼田) 石元里佐(園分) 竹内修(久礼田) 吉村一馬(中ノ川)

■地田亀美代(十市)

おめでとうございました。